

## 流域治水プロジェクトに係る情報提供

- 水害リスクマップの整備スケジュールと活用について
- 流域治水プロジェクト事例集について
- 中部関係省庁実務担当者会議の開催報告について

令和4年3月15日  
遠州流域治水協議会

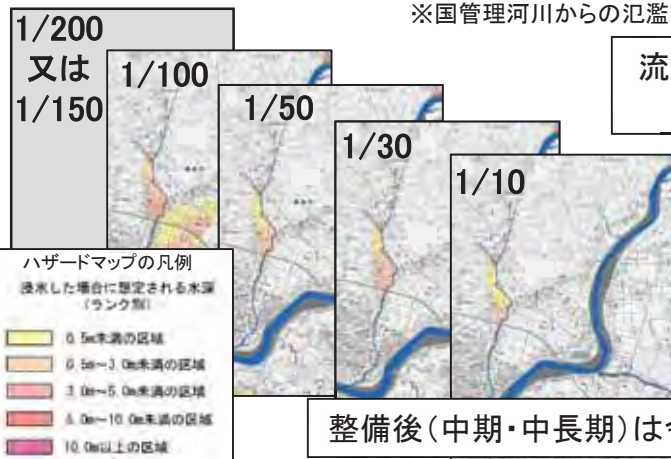
# 水害リスクマップの整備スケジュール・流域治水プロジェクトへの活用について

流プロ資料の公表と合わせて公表することを基本とする※現況・短期河道(流域統合版)

令和3年度末に流プロ資料として公表

## ①多段階の浸水想定図(外水氾濫※)

※国管理河川からの氾濫



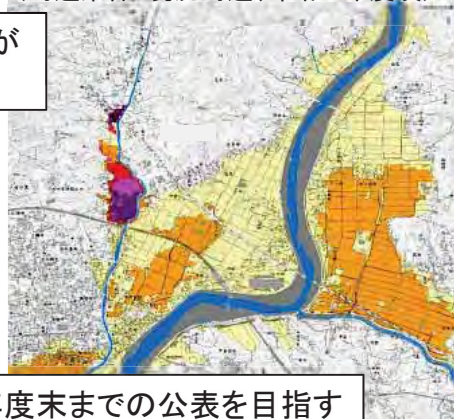
流域全体が  
対象

重ね  
合わせ

整備後(中期・中長期)は令和4年度末までの公表を目指す

## ②外水氾濫の水害リスクマップ

(河道条件: 現況河道、令和7年度頃)



## ③整備効果の「見える化」

(河道条件: 現況河道)

一部又は流域  
全体が対象

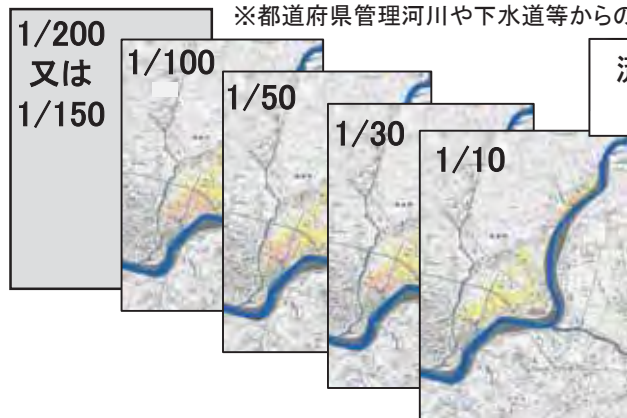
(河道条件: 令和7年度頃)

見える化

## ⑥内外水統合の水害 (②と⑤の重ね合わせ)リスクマップ

## ④多段階の浸水想定図(内水氾濫※)

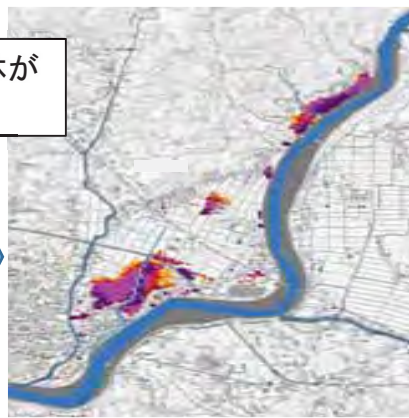
※都道府県管理河川や下水道等からの氾濫



流域全体が  
対象

重ね  
合わせ

## ⑤内水氾濫の水害リスクマップ



流域全体が  
対象

水害リスクマップの凡例



# 流域治水 プロジェクト

～流域治水への転換～

## 中部地方整備局管内 事例集 (令和4年2月)



# 目次

## ・氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策

- |             |                                         |
|-------------|-----------------------------------------|
| ① 浜松河川国道事務所 | 田んぼの貯留機能を活用した河川の流量低減の取組                 |
| ② 庄内川河川事務所  | 農業用ため池の防災への活用                           |
| ③ 庄内川河川事務所  | 「愛知県基幹的広域防災拠点」と連携した大山川調節池整備             |
| ④ 庄内川河川事務所  | かつての氾濫原等の再生による遊水機能強化等の自然生態系を基盤とする防災減災推進 |
| ⑤ 沼津河川国道事務所 | 内水地区に目標を定める水害対策プランの策定                   |
| ⑥ 豊橋河川事務所   | 安城市の田んぼの貯留機能を活用した河川の流量低減の取組             |

## ・被害対象を減少させるための対策

- |              |                                      |
|--------------|--------------------------------------|
| ⑦ 木曾川上流河川事務所 | 河川整備事業と連携した被害対象減少対策(西濃厚生病院)          |
| ⑧ 木曾川上流河川事務所 | 立地適正化計画(防災指針含む)の策定                   |
| ⑨ 木曾川下流河川事務所 | 公共施設の高台移転や津波避難施設整備による「災害に強いまちづくり」の推進 |

## ・被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- |              |                                      |
|--------------|--------------------------------------|
| ⑩ 浜松河川国道事務所  | 企業BCP(水害版)作成支援の取組                    |
| ⑪ 庄内川河川事務所   | 洪水等からの「逃げ遅れゼロ」を実現するための名古屋駅地下空間タイムライン |
| ⑫ 三重河川国道事務所  | 県・市・民間企業と連携した簡易型浸水センサを活用した防災情報の共有    |
| ⑬ 天竜川上流河川事務所 | スマホアプリを活用した避難行動計画(マイタイムライン)の作成       |
| ⑭ 天竜川上流河川事務所 | 三六災害における防災教育・災害伝承の取組                 |
| ⑮ 木曾川下流河川事務所 | 海拔ゼロメートル地帯における洪水被害軽減のための広域避難実現プロジェクト |
| ⑯ 庄内川河川事務所   | 土岐川・庄内川流域治水シンポジウムの開催                 |
| ⑰ 静岡河川事務所    | 官学の連携した水防災教育のサポート制度                  |

## ・整備効果

- |              |                            |
|--------------|----------------------------|
| ⑱ 木曾川上流河川事務所 | 既存ダムの洪水調節機能強化(事前放流)による治水効果 |
| ⑲ 浜松河川国道事務所  | 黒沢川における国・県の河道掘削(除草)による治水効果 |
| ⑳ 豊橋河川事務所    | 鶉の首地区水位低下対策事業の治水効果         |





・菊川水系流域治水プロジェクトに登録されている、与惣川流域の田んぼ貯留※対策において田んぼ管理者の了解が得られ、台風期に備え田んぼ貯留柵の設置を開始しました。大雨時における流出量を把握するなど、実証を進めます。

※田んぼ貯留とは、流域治水プロジェクトに記載しました、水田貯留を指します。

## 田んぼ貯留現場



今回設置した  
貯留柵・堰板



流域治水の説明



調整堰板がない場合 調整堰板がある場合

そのまま  
排水されます。

チョロチョロと  
排水されず。

田んぼ貯留効果実験

## 記者取材対応



浜松河川国道  
事務所職員

## テレビ局取材対応



田んぼ管理者



掛川市職員





浸水被害の軽減・早期復旧を図るための取り組みとして、浜松市の地域経済を支える浜松商工会議所の所属企業を対象に、**企業BCP(水害版)作成支援の勉強会を開催し、約15社の作成支援**を行いました。

### 【開催概要】

- 会場：浜松商工会議所 10階BC会議室(第1部のみWEB併用)
- 参加者：(第1部)浜松商工会議所所属企業 64名(会場11名 WEB53名)  
(第2部前半)浜松商工会議所所属企業 18名(15社)  
(第2部後半)浜松商工会議所所属企業 18名(15社)

回	テーマ	プログラム概要
第1部 勉強会 令和3年 11月1日(月)	水害リスクを理解しよう <b>リスクを知る</b>	・全国災害状況など ・浜松の災害 ・河川管理者の仕事説明 ・流域治水の取り組み説明 ・水害リスクとハザードマップの読み方 ・いまからできる企業の備え
第2部 勉強会 (前半) 令和3年 12月1日(水)	水害リスクに備えよう <b>リスクを考える</b>	・企業BCP(水害版)作成支援ツールを活用したBCP作成の手順説明 ・ワークショップ①:自社の水害リスクを踏まえた人命を守るための対策を考える(個別ワーク)
宿題		参加企業には、第3回勉強会までに、重要業務を選定
第2部 勉強会 (後半) 令和3年 12月18日(木)	BCPを深めよう <b>リスクに気づく</b>	・ワークショップ②:重要業務の継続に必要な資源(人・物・情報・BCP体制)の被害想定と事前対策等の設定(個別ワーク) ・グループで各企業の対策について意見交換(グループワーク)

「主催：浜松商工会議所・遠州流域治水協議会」の**連携開催**を実施



### 〈第1部〉

浜松商工会議所会場とWEBを併用し、水害リスクや企業の備えについて国土交通省 浜松河川国道事務所から説明を行いました。また、ハザードマップに係る質問等があり、**防災に関する基礎知識を学習**しました。



### 〈第2部(前半)〉

企業BCP(水害版)支援ツールを用いた企業BCP(水害版)の作成やハザードマップを使用し、**自社の想定浸水深など検索を行い浸水の危険性を把握**したうえで、企業BCP(水害版)を作成・検討いただきました。参加社からは、**初めてハザードマップを閲覧操作した**などの感想を頂きました。



### 〈第2部(後半)〉

第2回前半での課題を参加社がもちより「重要業務の選定」から検討を行い**企業BCP(水害版)を作成**しました。後半には、各企業(参加社の業種はサービス・通信・製造など)の**企業BCP(水害版)検討状況を、ワークショップ形式で意見交換**を行い、他社の取り組み状況を共有することにより水害に対する意識がより向上しました。



### 【参加者の声】

- ワークショップでは、参加者の皆様から以下のような感想をいただきました。
- ・まずはできることは何かと考え、**準備出来るものから対策したい**と思います。
  - ・**具体的に対策すべき事がわかり、社内に浸透させていけそうです**。大変勉強になりました。

勉強会の開催により、参加者が洪水リスクへの具体的対策を把握・検討することができ、参加した約15社において企業BCP(水害版)が作成され、**流域治水の「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策を促進**しました。



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

流域治水対策(案)	
ソフト対策	水防災教材等を活用した小中高等学校等への水防災授業の実施、マイトimeline作成の推進 ○水防災教育学生サポーター制度
	要配慮者利用施設における避難計画の策定及び訓練の促進、マイトimeline作成の推進
	国・各自治体が所有する排水ポンプ車を活用した排水訓練等の実施
	各種ハザードマップの電子媒体化による情報発信の適正化
	水害リスク空白域の解消
	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明等

※赤字:写真の凡例を説明

## 国・各自治体が所有する排水ポンプ車等を活用した排水訓練等の実施



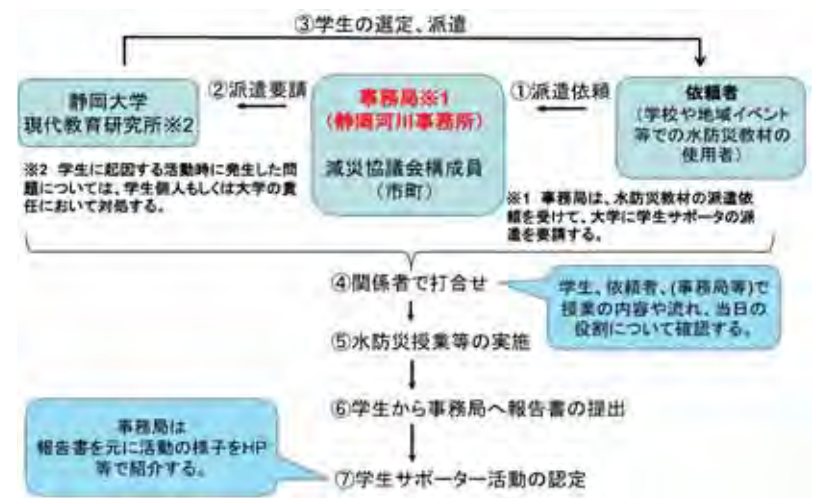
## 排水作業準備計画書の作成

排水作業準備計画書  
 (破堤地点:安倍川 3k5 左岸  
 排水箇所:静岡市 駿河区 西島地区)



## ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

### 水防災教育学生サポーター制度



水防災教育学生サポーター制度オンライン調印式



- 流域治水の取組をさらに加速化させるため、中部地域に所在する関係省庁が集まり、『第3回 流域治水の推進に向けた中部関係省庁実務者会議』を開催しました。
- 今回は、令和3年度に実施した各機関の取組状況について共有し、引き続き、流域治水の取組を連携して推進していくこととともに、令和4年度に開催予定の実務者会議では、各機関の新規施策・予算等について共有していくことを確認しました。

【日時】 令和4年2月4日(金) 10:30～11:30

【場所】 Web会議

【議長・構成員】 (○;議長)

○ 田中 敬也	中部地方整備局 河川部長
山崎 正晴	東海財務局 管財部長
加藤 泰基	東海北陸厚生局 災害医療・医師偏在対策専門官 (欠席)
清野 哲生	関東農政局 農村振興部長
古賀 徹	東海農政局 農村振興部長
花村 健治	中部森林管理局 名古屋事務所 事務所長 (代理出席:副所長 佐々木 伸也)
一ノ瀬 宏昭	中部経済産業局 地域経済部長 (代理出席:地域振興係長 平山 潤)
小笠原 洋和	中部運輸局 総務部 安全防災・危機管理調整官
北田 繁樹	名古屋地方气象台 広域防災管理官
曾山 信雄	中部地方環境事務所 環境対策課長

### Web会議の様子



### 意見交換の要旨

- 治水に焦点を絞って専門的なBCPを作成することは、企業にとってはメリット。水害が発生した場合、どのような被害が生じるのか知ってもらうことも大事。中部地整の取組と連携して実施していきたい。 <中部経済産業局>
- 田んぼダムやため池の活用は、R4予算から普及に活用できる補助制度も始まる予定。特に田んぼダムは地域の広がりをもって実施した方が効果があり、先進地区の事例を参考にさせていただきながら、実施していただく農家の方へのメリットも整理して積極的に普及していきたい。 <関東農政局>